

# 職人さん。

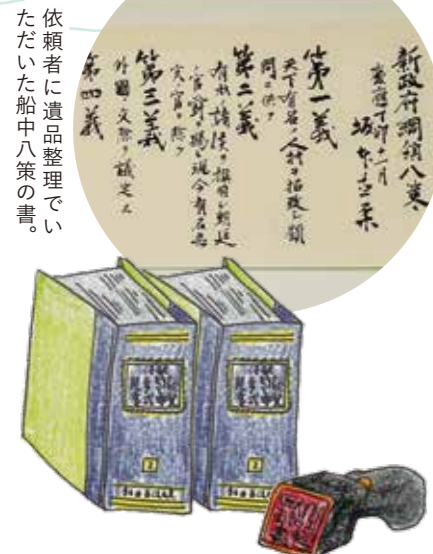
いの町のまらで会いましょう

第7話

2021.1月号

## 人との信頼を大切に、仕事と生き方。

司法書士・行政書士 **刈谷裕治**さん



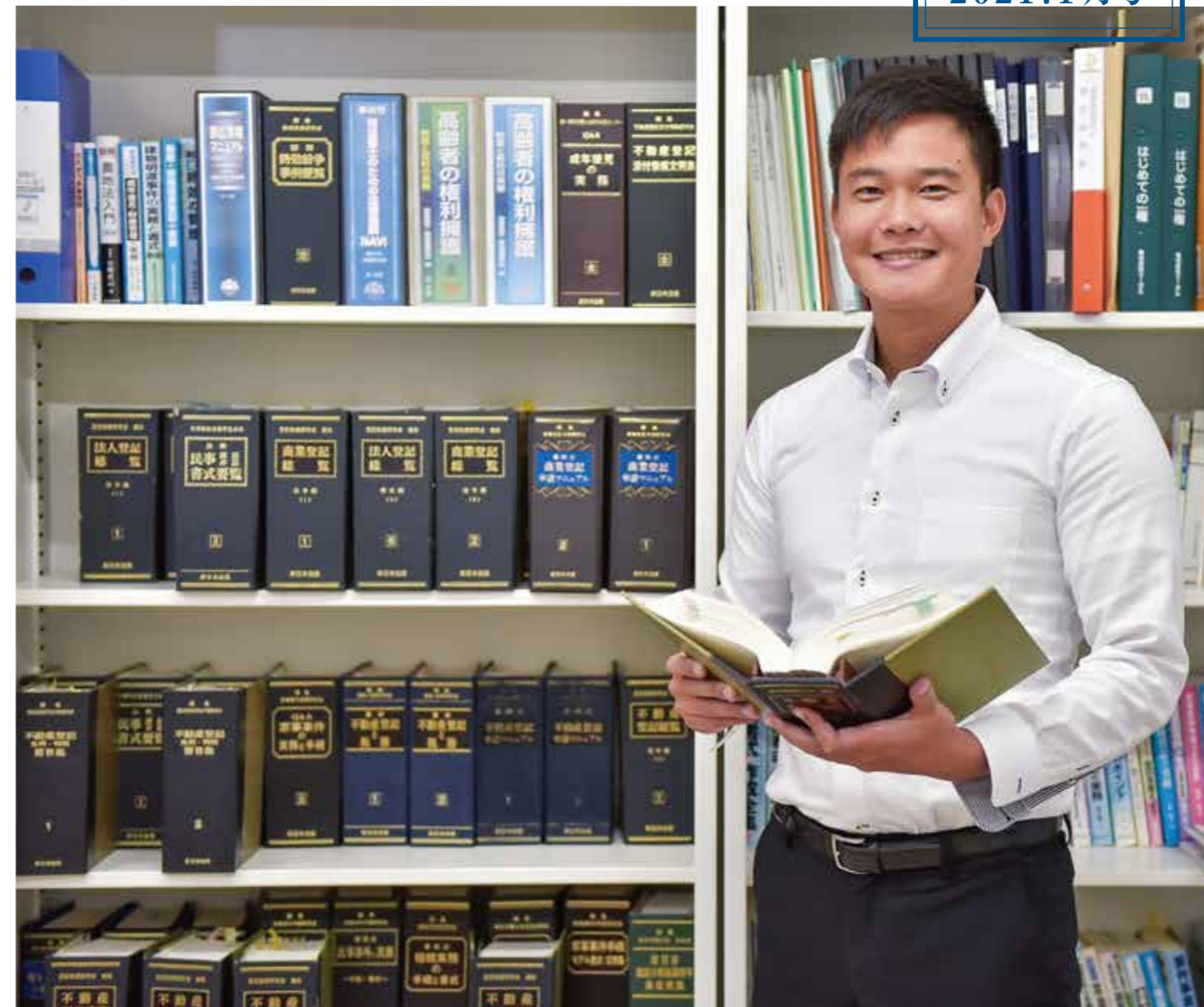
オフィスには法律関係の必需品がずらり。

役場前の交差点に掛かる、かりや司法書士事務所の看板。司法書士さんって、どんなお仕事をするの？それは実際に依頼した人ぞ知る、ととっても過言ではないでしょう。

公的な書類を作る専門家というのわかるのですが、相続の分野では公正証書を作成する公証人の仕事もするし、現在は法律の改正で、裁判など弁護士に近い案件が入ることも。土地や企業の登記などを手がけるので、法務局との書類のやり取りが多い仕事です。高知市内でも法務局の近くにオフィスが多いイメージ。資格取得は平均30代前半、ちなみに司法書士は県内に110人ほどいて…といったところが基本情報です。

刈谷裕治さんは33歳で資格を取得しました。行政書士も同年に取得していて、こちらは司法書士の取得者が取れる資格です。

ただ、お話を聞くと、刈谷さんが難関の資格を取った経緯は、並々ならぬ意志の賜物だとわかります。工業系の高校を卒業後、福祉用具の卸会社で29歳まで勤務し、その間は高知を離れての転勤



プロフィール:司法書士・行政書士。FP二級。いの町出身・在住。伊野中学校・県立高知東工業高校卒。福祉用具の卸業を経てUターン。通信教育で学び、33歳で司法書士と行政書士を取得。事務所開業は2018年。

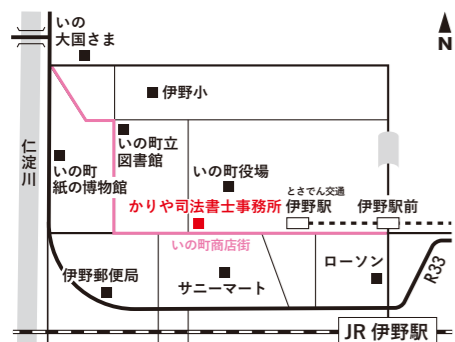


ゴム印も専門的なラインナップ。

が続きました。その後通信教育で学び、4年かけて取得したのです。「本気で資格を考えたのは会社を辞める頃です。23歳ぐらいで自分流に行政書士の勉強を始めたりにしてはいたんですが、まだ目標はぼんやりしていました。初めて勉強というのをしてみたいと思ったのは、学生の頃は勉強が嫌いで、ほとんどしなかったから。何かを探していたと思います。あまり人がやっていないことをしたいという思いがありました。」

小さい頃の夢は大工さんだったそう。家が自営業だったので、自分も将来独立をしたいと思っていたと言います。勉強へのエンジンがかかったのは遅咲きでしたが、かえってそれが地道な努力と面白さへつながったのかもしれない。願い叶って2018年7月、この事務所を開業しました。自身で町内を自転車ですら探した、お気に入り物件です。

お仕事柄、仕事内容についてのコメントは口が固い刈谷さん。相談は予約制で、相談料はいただきません。「基本的には書類を作成する業務ですが、相続では往々にしてトラブルもあるの



**かりや司法書士事務所**  
いの町1700番地19-2F  
営業/相談はご予約制です  
定休日/土曜・日曜・祝日  
TEL / 088-881-2919



で、人様の事情に奥まで入ることになります。司法書士としてお客様と向き合い、信頼関係をつくることを心がけています。」なかでも相続は多くの人が経験することなので、少しアドバイスをいただきました。「家や土地の名義変更は存命中にしておく、後々の問題を避けられます。税金の高い生前贈与より、法的な遺言である公正証書を作るよう、おすすめしています。」

プライベートの趣味は久しぶりに再開したサーフィン。海に恵まれた高知、その大自然に浸り、満喫しています。オフィスに掲げている書は、お客様が遺品整理でくださったもの。禅語と坂本龍馬の船中八策で、大河ドラマ「龍馬伝」のビデオは10回以上観たほどのファンです。

「みんな仲良く暮らしていらればいけれど、そうもいかないのが世の中。この仕事に携わる自分がクッションになって、ほんの少し和らげることができたら、という職業観はあります。」誰もがいつかお世話になるかもしれない、頼もしい専門家です。